

# 東京の林業振興に向けた専門懇談会（第2回）

## 次 第

令和4年11月11日（金）  
10時30分～12時00分  
都庁第一本庁舎21階 海区委員会室

1 開会

2 議事

（1）懇談会でのご意見を踏まえた今後の施策の展開について

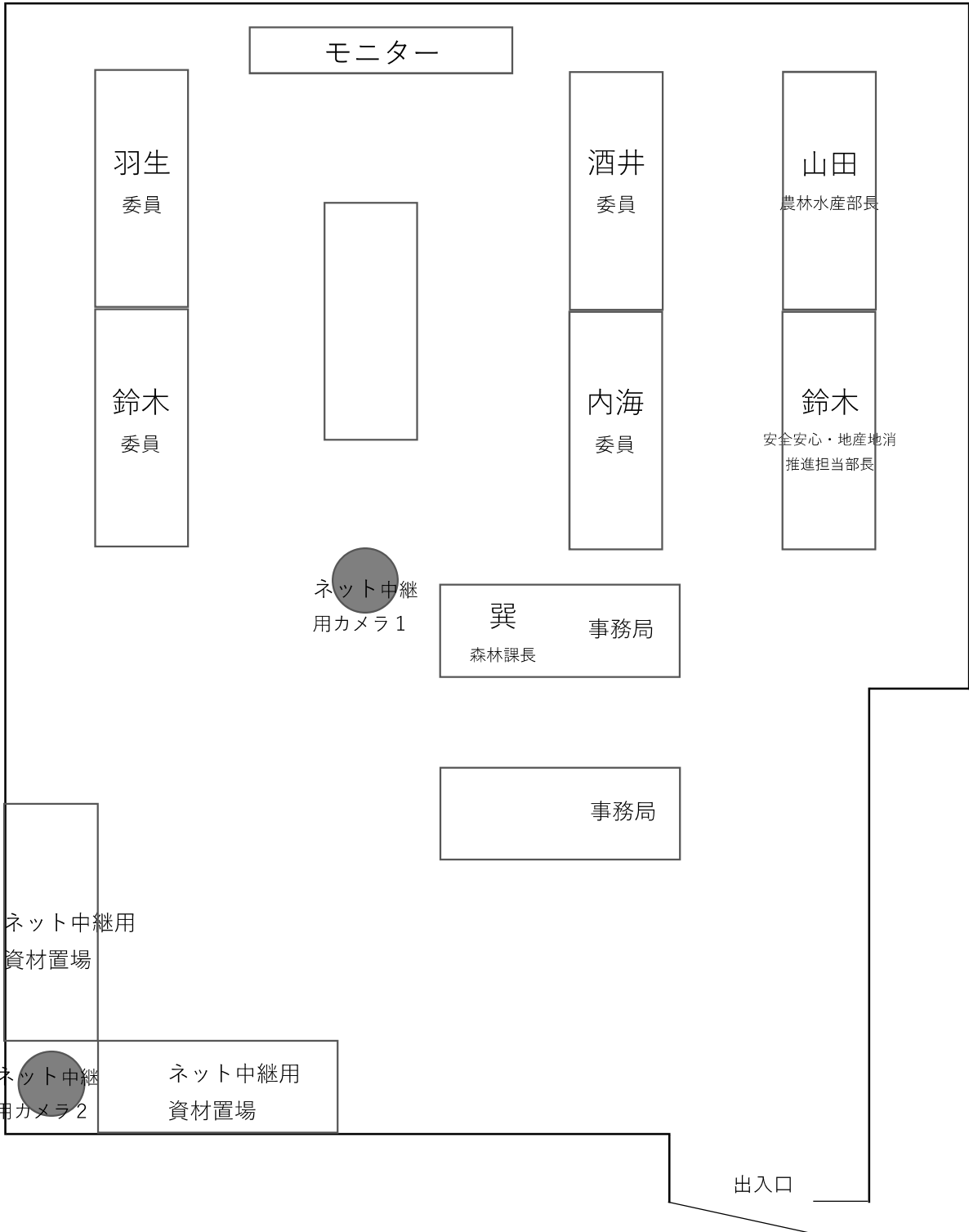
## 東京の林業振興に向けた専門懇談会 専門家等名簿

氏名	現職等
青木 亮輔	株式会社東京チェーンソーズ 代表取締役
内海 彩	株式会社内海彩建築設計事務所 代表取締役
酒井 秀夫	一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会 会長
鈴木 敦子	認定NPO法人環境リレーションズ研究所 理事長
羽生 岳史	塔婆 護摩札 製造販売元 八代目 羽生文右衛門


(五十音順、敬称略)

# 東京の林業振興に向けた専門懇談会（第2回） 座席表

令和4年11月11日（金）午前10時30分開会  
都庁第1本庁舎21階 海区漁業調整委員会室







# 東京の林業振興に向けた 専門懇談会 (第2回)



# 準備会及び第1回における意見概要①

分野	主な内容
森林整備	<p>➤ 現在の取組の着実な推進</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 森林整備等に関する優良事例を周知</li><li>2. 伐採搬出に係る経費を自治体や企業が負担</li><li>3. 企業による森林整備</li><li>4. 間伐材の搬出及び有効利用</li></ol>
	<p>➤ 取組に向けて検討</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 広葉樹植栽や企業提案型等主伐事業の拡充</li><li>2. シカの多いエリアを選んだ重点的な対策が必要</li><li>3. 脱炭素に貢献したい中小企業等による森林整備等の推進</li><li>4. 森林を木材以外の価値で考える必要</li><li>5. 森林所有者が安心して山を持てる仕組が必要</li></ol>

## 準備会及び第1回における意見概要②

分野	主な内容
森林環境 譲与税	<p>➤ 現在の取組の着実な推進</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 譲与税の使途事例パンフレットの配布</li></ol>
	<p>➤ 取組に向けて検討</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 山間部と都市部と自治体協力の強化が必要</li><li>2. 苗木生産において環境譲与税を活用</li><li>3. 学校林などに譲与税を活用</li></ol>

# 準備会及び第1回における意見概要③

分野	主な内容
労働力	<p>➤ 現在の取組の着実な推進</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 経営基盤の強化支援</li><li>2. 就業希望者への相談窓口設置</li><li>3. 架線研修の実施</li><li>4. 特殊伐採などの高度技術者育成</li><li>5. 若い人にとって林業を魅力ある職業にする必要</li></ol>
	<p>➤ 取組に向けて検討</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 搬出を行う架線を取扱う技術者を増やす工夫が必要</li><li>2. 短時間でも勤務できる仕組みを苗木生産者などへ提案</li><li>3. 雇用の場の提供など、森林所有者が山を持つ意義を普及</li></ol>

# 準備会及び第1回における意見概要④

分野	主な内容
林業機械	<p>➤ 現在の取組の着実な推進</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 林業機械リース、レンタル時の補助</li><li>2. 都で購入した林業機械の有効活用</li><li>3. 都に合う架線集材方法の検討</li><li>4. 林業機械の研修実施</li><li>5. 先進地への視察等の実施</li></ol>
	<p>➤ 取組に向けて検討</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 林業機械活用事例の提供</li><li>2. 東京の実情にあった先進機械の導入が必要</li></ol>



# 準備会及び第1回における意見概要⑤

分野	主な内容
木材加工 ・流通	<p>➤ 現在の取組の着実な推進</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 製材、流通への設備投資</li><li>2. 材の乾燥、ストックへの支援</li></ol>
	<p>➤ 取組に向けて検討</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 将来的に大径木製材によるA材市場を形成</li><li>2. 製材保管庫、保管費用の補助</li><li>3. 川上から川下までの情報共有</li><li>4. 木材利用等の機運醸成</li><li>5. JAS材の推進</li><li>6. 製材所の規模を拡大</li><li>7. 都内における国産木材の流通の円滑化</li></ol>

# 準備会及び第1回における意見概要⑥

分野	主な内容
木材利用	<p>➤ 現在の取組の着実な推進</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 木材利用の意義のPR</li><li>2. 多摩産材を優先利用する枠組み</li><li>3. 都による多摩産材の率先利用</li><li>4. A～C材全ての需要創出及び活用</li><li>5. 設計・施工者への木造建築物に対する理解の促進</li></ol>
	<p>➤ 取組に向けて検討</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 多摩産材を優先利用する後押しの強化</li><li>2. 多摩産材等を事業者のほか消費者にもPRすることが必要</li><li>3. 木材利用を促す仕組のアイデア</li></ol>

# 意見を踏まえた施策展開の方向性

## 意見

### 【森林整備】

シカの多いエリアを選んだ重点的な対策が必要

### 【環境譲与税】

山間部と都市部と自治体協力の強化が必要

### 【労働力】

搬出を行う架線を取扱う技術者を増やす工夫が必要

### 【林業機械】

東京の実情にあった先進機械の導入が必要

### 【木材加工・流通】

都内における国産木材の流通の円滑化（コスト削減）

### 【木材利用】

多摩産材等を事業者のほか消費者にもPRすることが必要

### 【木材利用】

多摩産材を優先利用する後押し強化

## 速やかに施策へ反映

- 狩猟による捕獲に加え、多様な手法によるシカ捕獲を実施

- 特別区と多摩の自治体連携を後押し

- 架線を使用した伐採搬出技術に必要な資格取得に向けた環境を整備

- 海外などの先進的な林業機械を導入

- 国産木材の流通を増やすため輸送費等を助成

- 消費者向けに木材のPRを強化

- 民間住宅における多摩産材利用の取組を強化

➤ 1 市の開催等を利用した機運醸成

➤ 2 マンションの内装等への木材利用の可能性